

令和5年12月27日

教育委員会第12回定例会記録

石巻市教育委員会

教育委員会第12回定例会記録

◇開会年月日 令和5年12月27日（水曜日） 午後 3時30分開会

午後 5時00分閉会

◇開催の場所 本庁舎4階 庁議室

◇出席委員等 5名

教 育 長	宍 戸 健 悦
委 員（教育長職務代理者）	阿 部 邦 英
委 員	梶 谷 美 智 子
委 員	大 和 千 恵
委 員	依 田 晴 美

◇出席職員 事務局長 鈴木 憲

事務局次長 今 野 良 司

事務局次長（教育・文化芸術振興担当） 工 藤 聖 子

教育総務課長 赤 坂 将 人

学校再編推進室長 星 憲

学校教育課長 福 田 光 一

学校安全推進課長 佐々木 伸

学校管理課長 土 田 順 平

生涯学習課長 水 澤 秀 晃

図書館長 戸 田 ゆかり

◇書 記 教育総務課長補佐 成 澤 和 彦

教育総務課総務係長 平 塚 悦 子

教育総務課主事 河 井 夏 月

教育総務課主事 遠 藤 真 美

◇付議事件

一般事務報告

- ・教育長報告
- ・奨学金貸付金に係る口座振替による償還について
- ・石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金の補助率の引き上げについて

報告事項

- ・報告第8号 専決処分の報告について
専決第8号 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
専決第9号 令和5年度石巻市一般会計補正予算（第5号）
(教育委員会の事務に係る部分)
- ・報告第9号 専決処分の報告について
専決第10号 令和5年度石巻市一般会計補正予算（第6号）
(教育委員会の事務に係る部分)

審議事項

- ・第41号議案 第2次石巻市子ども読書活動推進計画（案）について

その他

午後 3時30分開会

○**宍戸健悦教育長** それでは、ただいまから令和5年第12回定例会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はおりません。

会議署名委員の指名

○**宍戸健悦教育長** それでは会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は依田委員にお願いします。

よろしくをお願いします。

教育長報告

○**宍戸健悦教育長** それでは、本日の案件に入ります。

本日の案件は、一般事務報告3件、報告事項が2件、審議事項が1件、その他となっております。

それでは、一般事務報告に入ります。

初めに、私から報告をいたします。

学校関係のインフルエンザの感染状況について、報告をいたします。

市内の小・中・高校においては10月中旬から増加ははじめ、12月に入っても毎週のように学級閉鎖等の処置を行い、延べ28校になりました。桜坂高校の2年生が京都・奈良方面の修学旅行に12月13日から16日まで行ってきました。途中でインフルエンザが発症したり、体調を崩したりする生徒がいたものの全体としては予定どおり回ることができたとのことでありました。

今月の学校・幼稚園につきましては、小・中学校において12月上旬に第2回目の標準学力調査が行われました。今後その結果をもとに家庭と協力しながら、振り返りと補充学習を行い、しっかりと学力を定着させていきたいと考えています。

中学校では進路決定と受験の準備が本格的に始まっており、自分の夢や未来をしっかりと切り開いていって欲しいと思っております。

また、公立の幼稚園では、来年度の入学申し込みが終了したところですが、3園中2園が1名ずつ極端に少ないものの、来年度については年長児が多くいるため、入学を希望しています。しかし、次年度以降については保健福祉部とも連携しながら、園児の教育環境を考慮し、保護者と話し合いながら進めていきたいと考えています。

各学校では22日に学級閉鎖等もなく、全ての学校で2学期終業式を行い、1月8日までの冬季休業に入りました。

次に市議会第4回定例会は12月11日から開催され、昨日26日に閉会しました。内容は条例の改正や、令和5年度一般会計等の補正予算などでありました。私からは環境教育委員会での質疑内容並びに一般質問の内容について報告をいたします。

初めに環境教育委員会において付託された2議案について審査に入り、初めに「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例」では、令和7年4月の桃生地区小学校の3校統合に向けた施設改修の内容について質疑があり、統合後の校舎である桃生小学校において、エアコンの設置やトイレの改修工事等実施するものであり、児童の学習環境に影響を及ぼさないよう、長期の休みなどを活用しながら、進めていきたい旨、答弁しました。

また、統合後の駐車スペースの確保について質疑があり、スクールバスについては桃生幼稚園側の敷地を活用することを協議中であり、普通車については、行事等の際に近隣の敷地を一時的に借りて対応していることから、引き続き同様の対応をしていきたい旨、答弁しました。

更に、3校統合に伴う教員の加配について質疑があり、統合前から3校に教員が1人ずつ加配され、加配された教員は統合後も継続して配置されることとなる。統合後も1人加配される見込みであり、統合前から児童と関わってきた教員が引き続き務められるよう、配慮したい旨、答弁をいたしました。

次に、学校給食費では、賄材料費の算定方法について質疑があり、本来の給食費単価は小学校286円、中学校350円であるが、今回の補正は住吉学校給食センターの給食停止期間における弁当代と、本来の給食費等の差額である旨、答弁をいたしました。

環境教育委員会では、その後全ての原案を可決いたしました。

更に、26日の本会議で条例、補正予算等が可決されました。

次に、21日から行われました一般質問は24名から通告があり、そのうち教育関係は6名からありました。主な内容を申し上げます。

1つ目は、教育長の目指す教育について質疑があり、ワクワクする学校と郷土愛、学校の役割や、学びの在り方などについて答弁をいたしました。生徒の環境作りとして、部活動地域移行の進捗状況、桜坂高校の特色について質疑があり、休日の活動については生徒のことを第一に考えながら指導者の確保や、大会への引率等の課題について、協議を続け令和8年度には地域への移行を目指して行きたい旨、答弁しました。

また、桜坂高校の特色については、地域に根差した教育活動を展開し、介護職など地域で活躍できるキャリア教育を行って行きたい旨、答弁しました。

次に、石巻管内の高校の現状について質疑があり、管内全体では8割の充足率であるが、多種多様な特色を持った高校が揃っている地域である。桜坂高校においても、2コースで特色ある学校作りを行っているところであるが、医療関係の人材不足もあり、介護医療等の人材育成も含めて、キャリア教育に取り組んでいきたい旨、答弁しました。

次に、マルホンまきあーとテラスの利用状況について質疑があり、公的イベントなどの利用については一般利用の利便につながるよう、配慮していきたい。またウェブ予約システムの導入についても検討していきたい旨、答弁いたしました。

次に、幼児教育を取巻く現状と課題について質疑があり、公立幼稚園が減少する一方で幼児教育に対する需要が多様化しており、様々な幼児教育施設の連携と小学校との接続がますます求められる現状にあります。

市として今後も育てたい子どもたちの姿をみんなで共有し、幼児教育を推進していく旨、答弁しました。

次に、石巻市における教育の諸課題について質疑があり、石巻市幼児教育センターの想定している3つの機能として、研修・研究・支援について答弁しました。

また、GIGAスクール構想のタブレットの活用については、個別最適な学習への活用が進み、学力向上にも結び付いている。教員のサポート体制を更に推進していきたい旨、答弁いたしました。

以上が一般質問の主な内容であります。

これで私からの報告を終わります。

なにか御質問ございましたらお願いします。よろしいですか。

(「ありません」との声あり)

奨学金貸付金に係る口座振替による償還について

○**宍戸健悦教育長** それではなければ、次に「奨学金貸付金に係る口座振替による償還について」の報告を学校教育課長からお願いします。

○**福田光一学校教育課長** はい。教育長。

○**宍戸健悦教育長** はい。学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** はい。それでは表紙番号2の1ページを御覧願います。

奨学金の償還については、コンビニや金融機関において支払い可能な納入通知書による支払い、学校教育課窓口での支払い、ゆうちょ銀行口座からの口座振替により行われておりますが、このうち口座振替について、ゆうちょ銀行のみから実施しているものを、その他の金融機関においても実施できるようにするものでございます。

ゆうちょ銀行口座からの振替については、ゆうちょ銀行との個別契約に基づき、実施しておりますが、石巻市市税等口座振替実施要綱の対象税目等に奨学金を追加することにより、ゆうちょ銀行も含め、その他の金融機関においても口座振替が可能となります。

また、現在1回の口座振替に10円の手数料を奨学生が負担しておりますが、今後手数料については市が負担することになります。奨学生にとっては支払いのため、コンビニや金融機関まで行く必要がなくなり、給料の受け取りなど普段から利用する金融機関の口座での振替ができるとともに一度手続きを行えば、その後自動で償還されることから利便性が向上するものと考えております。

また、奨学金の償還に係わる利便性が向上することから、償還率の向上、滞納の減少につながるものとも考えております。

以上となります。

○**宍戸健悦教育長** はい。それではただいまの報告に対して、御質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」との声あり)

石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金の補助率の引き上げについて

○**宍戸健悦教育長** なければ、次に、「石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金の補助率の引き上げについて」の報告を学校教育課長からお願いします。

○**福田光一学校教育課長** はい。教育長。

○**宍戸健悦教育長** はい。学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** はい。それでは、表紙番号2の3ページを御覧願います。石巻市立小中学校体育及び文化活動補助金については、児童生徒の体力向上及び情操教育の推進に資するとともに、大会に参加する児童生徒の保護者等の、経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しており、中体連等の体育大会や音楽コンクールに参加する際の交通費及び宿泊費の一部と、音楽コンクール参加の際の楽器輸送費の全額を補助しているものです。

今回改定する内容につきましては、交通費及び宿泊費の補助率でございまして、これまで補助対象経費の75%を補助していたものを、80%に拡充し、より一層大会等へ参加する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るものでございます。

補助率を拡充し、保護者の経済的負担の軽減を図り、各種大会に参加しやすい環境を整備することにより、児童生徒のスポーツあるいは音楽に携わる機会の提供につながるものと考えております。

以上でございます。

○宍戸健悦教育長 はい。それでは、ただいまの報告について、何か御質問ございませんか。よろしいですか。

(「なし」との声あり)

報告第8号 専決処分の報告について

専決第8号 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

○宍戸健悦教育長 なければ、次に報告事項に入ります。報告第8号「専決処分の報告について」の専決第8号「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例について報告を受けた」と思います。

教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長 はい。教育長。

○宍戸健悦教育長 はい。教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長 はい。それでは、報告第8号「専決処分の報告について」専決第8号「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例」について御説明申し上げます。

本報告につきましては、令和5年石巻市議会第4回定例会に、石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例を提案するため、石巻市長から教育委員会に対し意見を求められましたが、教育委員会を開催する時間的余裕がございませんでしたので、石巻市教育委員会教育長事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、令和5年11月30日付で異議のない旨、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告するものです。

桃生地区の3小学校の統合につきましては、令和5年石巻市教育委員会第9回定例会で議決をいただいたところですが、これに伴い、石巻市立学校設置条例の改正を、令和5年石巻市議会第4回定例会に提案したものです。

それでは、改正内容について、条文に従いまして御説明申し上げますので、表紙番号1の1ページから4ページまで、併せて表紙番号3、条例新旧対照表の1ページを御覧願います。

3条では、小学校の名称及び位置を規定しておりますが、第3条の表中、中津山第一小学校、中津山第二小学校及び桃生小学校を、桃生小学校に改めるものです。

次に附則であります。本条例の施行期日を、令和7年4月1日とするものであります。

以上で報告を終わります。

○宍戸健悦教育長 ただいまの説明に対して、何か御質問ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

報告第8号 専決処分の報告について

専決第9号 令和5年度石巻市一般会計補正予算（第5号）

(教育委員会の事務に係る部分)

○宍戸健悦教育長 なければ次に、報告第8号「専決処分の報告について」の専決第9号「令和5年度石巻市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会の事務に係る部分）」について報告を受けたいと思います。

教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長 はい。教育長。

○宍戸健悦教育長 はい。教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長 はい。それでは、報告第8号「専決処分の報告について」の専決第9号「令和5年度石巻市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会の事務に係る部分）」について御説明申し上げます。

本報告につきましては、令和5年石巻市議会第4回定例会に提案するため、石巻市長から教育委員会に対し意見を求められましたが、教育委員会を開催する時間的余裕がございませんでしたので、石巻市教育委員会教育長事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、11月30日付で異議のない旨、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

それでは、別冊1の1ページから3ページを御覧願います。

歳入歳出の予算共に補正前の額から5,264万円の増額し、歳入歳出総額は107億2,356万8,000円となっております。

なお、10款には教育委員会の事務に係る部分の予算のほか、人事課の所管する正規職員、非正規職員の人件費及びスポーツ振興課が所管するスポーツに関する予算が含まれております。

10款のうち、教育委員会の事務に係る予算といたしましては4ページから5ページ、歳入歳出予算と共に補正前の額から2,224万円を増額し、歳入歳出は総額の84億6,014万4,000円となっております。

歳入歳出に係る説明に関しまして、教育委員会の事務に関する部分についてのみ御説明させていただきますので、御了承願います。

初めに、歳出から御説明申し上げます。

8ページを御覧願います。

10款6項8目、社会教育施設管理費については、スポーツ振興課が所管する部分の補正となりますので、説明を省略させていただきます。

10ページから11ページを御覧願います。

10款7項3目、学校給食費の説明覧1の賄材料費に、2,224万円を計上しております。

これは、住吉学校給食センターの老朽化対策、施工期間中の代替給食提供に伴い、増額措置したものでございます。

次に、債務負担行為について御説明申し上げますので、12ページから13ページを御覧願います。

学校給食費管理システム構築及び保守業務については、令和6年度から、業務委託を年度当初から直ちに実施するため、令和5年度中の契約手続きを行うことから、債務負担行為を設定するものでございます。

次に、歳入について御説明申し上げますので、1ページにお戻りください。

18款1項基金繰入金に5,264万円を計上しております。

これは、歳入歳出予算想定の結果、なお必要とする財源補填のため、財政調整基金繰入金から措置したものでございます。

以上で報告を終わります。

○宍戸健悦教育長 はい、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

報告第 9号 専決処分の報告について

専決第 10号 令和5年度石巻市一般会計補正予算(第6号)

(教育委員会の事務に係る部分)

○宍戸健悦教育長 なければ次に、報告第9号「専決処分の報告について」の専決第10号「令和5年度石巻市一般会計補正予算(第6号)(教育委員会の事務に係る部分)」について報告を受けたいと思います。教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長 はい、教育長。

○宍戸健悦教育長 はい、教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長 はい、それでは報告第9号「専決処分の報告について」専決第10号「令和5年度石巻市一般会計補正予算(第6号)(教育委員会の事務に係る部分)」について御説明申し上げます。

本報告につきましては、令和5年石巻市議会第4回定例会に提案するため石巻市長から教育委員会に対し意見を求められましたが、教育委員会を開催する時間的余裕がございませんでしたので、石巻市教育委員会教育長事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により、12月14日付けで異議のない旨、専決処分を行いました。同条第2項の規定により報告するものでございます。それでは別冊2の1ページから3ページを御覧願います。

歳入歳出予算の補正前の額に、歳入歳出それぞれ737万円を減額し、歳入歳出総額は107億1,619万8,000円とするものでございます。なお10款には教育委員会の事務に係る部分の予算のほか人事課の所管する正職員の人件費及びスポーツ振興課が所管するスポーツに関する予算が含まれております。10款のうち教育委員会の事務に係る予算としましては4ページから5ページ、歳入歳出予算ともに補正前の額から3,518万9,000円を増額し、歳入・歳出総額は107億5,875万7,000円となっております。今回の補正予算は人事院勧告に基づく職員給与の改定、及び職員の異動等に伴う人件費などの予算整理を主体に措置したものでございます。10款には人事課所管の正職員の人件費に予算も含まれていることから全体としては減額補正となっておりますが、教育委員会の事務に係る人件費、主に会計年度任用職員の報酬等に係る予算としましては、増額補正となっております。

それでは、教育委員会の事務に係る部分の主な内容について御説明させていただきます。

歳出のみ御説明申し上げます。8ページを御覧願います。

なお、今回補正計上した額は、すべて人事院勧告に伴い会計年度任用職員の報酬手当等及び共済費に係る影響部分を計上したものでございます。10款1項2目事務局費の説明欄の2教

育総務事務費に64万6,000円を、3目教育指導奨励費の説明欄1のコミュニティ・スクール推進事業費に10万5,000円を、2教育指導奨励費に16万6,000円を、3特別支援教育事業費に1,035万4,000円を、4定住外国人就学支援事業費に36万円を、5学校図書館担当配置事業費に209万1,000円を、11ページをお開き願います。

6サイエンスラボ事業費に21万7,000円を、7学びサポートセンター事業費に98万9,000円を計上しております。12ページ、10款2項1目学校管理費の説明欄2小学校管理費(教育総務課)に233万8,000円を、3小学校管理費(学校教育課)に42万円を、4小学校施設維持整備費に16万6,000円を計上しております。

14ページ10款3項1目学校管理費の説明欄2の中学校管理費(教育総務課)に36万1,000円を、3中学校施設維持整備費に11万6,000円を、4特別支援教育共同実習所費に47万2,000円を計上しております。

16ページ10款4項1目学校管理費の説明欄2高等学校管理費(教育総務課)に26万9,000円を、3高等学校管理費(学校教育課)に31万8,000円を計上しております。

18ページ10款5項1目幼稚園費の説明欄2幼稚園管理費(教育総務課)に53万5,000円を、3幼稚園管理費(学校教育課)に269万円を計上しております。

20ページ10款6項1目社会教育総務費の説明欄2社会教育指導員費に23万2,000円を、2目文化財保護費の説明欄1文化財保護管理費に42万8,000円を、2齋藤氏庭園管理費に35万8,000円を、3の埋蔵文化財発掘調査事業費に37万9,000円を、3目公民館費の説明欄1公民館管理費に243万8,000円を計上しております。

22ページ、10款6項4目図書館費の説明欄1図書館管理費に177万2,000円を、5目複合文化施設費の説明欄1博物館運営費に28万2,000円を、2博物館資料調査整理事業費に27万1,000円を計上しております8目社会教育施設管理費の説明欄1桃生文化交流会館管理費に12万5,000円を、2島の楽校管理運営費に28万4,000円を計上しております。

24ページ10款7項3目学校給食費の説明欄1学校給食センター運営費600万7,000円を計上しております。以上で報告を終わります。

○宍戸健悦教育長 はい、それではただいまの説明に対して御質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

第41号議案 第2次石巻市子ども読書活動推進計画(案)について

○宍戸健悦教育長 なければ、次に審議事項に入ります。第41号議案「第2次石巻市子ども読書活動推進計画(案)について」を議題といたします。生涯学習課長から説明をお願いします。はい、生涯学習課長。

○水澤秀晃生涯学習課長 それでは第41号議案「第2次石巻市子ども読書活動推進計画(案)について」御説明申し上げますので、別冊3の審議事項資料の1ページを御覧願います。

第1章「計画策定にあたって」であります。本市においては平成20年から24年の5か年計画として石巻市子ども読書活動推進計画を策定しており、計画終了後も担当各課がそれぞれ子どもの読書活動に関わる取り組みを行ってまいりました。この度、市として更に子どもた

ちの読書活動を推進していくため、関係部署が連携して、第2次計画を策定することとなりました。

次に3ページを御覧願います。第2章「計画の概要」についてであります。本計画の目標といたしまして、「石巻市に生まれ育つすべての子どもたちが、発達段階に応じてあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、読書環境の整備を進め、不読率の改善を目指します。」本市の不読率は令和4年度で小学生15.9%、中学生19.2%となっており、国平均より本を読まない子の割合が高くなっております。

そこで令和8年度の不読率を、小学生7%、中学生16%とすることを目標に設定いたしました。この数値につきましては、上位であります国の同計画と比率を合わせた形となっております。

続きまして5ページを御覧願います。第3章「子どもの読書活動のための方策」についてであります。本計画ではみやぎ子ども読書活動推進計画が掲げる重点事項を鑑み、6つの視点を示しております。

5ページの【視点1】家庭における読書活動の推進は、主に乳幼児向けの取り組みとなっております。

9ページの【視点2】地域における読書活動の推進は、民間団体やボランティア向けの取り組みとなります。

11ページを御覧ください。【視点3】学校における読書活動の推進は、学校での読書活動、学校図書館の取り組みとなります。

次に15ページを御覧ください。【視点4】図書館の機能強化と整備の推進は、図書館の推進についてそれぞれ記載しております。

続きまして19ページを御覧願います。第4章「計画の目標と進行管理のための方策」についてであります。1次計画の大きな違いといたしまして、2次計画では視点ごとに数値目標を設定しております。これらの数値を目標として進捗管理を行い、関係部署が協力連携し、市として子どもたちの読書活動をより一層推進していくこととなります。

以上でございます。よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○**穴戸健悦教育長** はい。ではただいまの説明に対して、御質問等ございませんか。

○**依田晴美委員** はい。

○**穴戸健悦教育長** はい。依田委員さん。

○**依田晴美委員** 別冊3の9ページ【視点2】地域における読書活動の推進の「2成果と課題」に一坪書店文庫が書かれていますが、地域文庫でなく古本屋であることから書店として書いていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○**水澤秀晃生涯学習課長** はい。

○**穴戸健悦教育長** はい、生涯学習課長。

○**水澤秀晃生涯学習課長** お答えします。地域文庫の中に一坪書店文庫を記入させていただいたところではございますが、古本屋として活躍なさっているということですので、削除の方向では検討させていただきたいと思っております。

○**依田晴美委員** 申し上げます。

○水澤秀晃生涯学習課長 はい、よろしくお願ひいたします。

○宍戸健悦教育長 はい。それではこの一坪書店文庫の部分を削除する方向でということでございます。

ではそのほか御質問ございませんか。

○梶谷美智子委員 はい。

○宍戸健悦教育長 梶谷委員。

○梶谷美智子委員 確認ですが、6ページ【視点1】家庭における読書活動の推進の「2成果と課題」の(2)「保育所、幼稚園、認定こども園等」【資料-4】が25ページとなっておりますが、これは24ページということによろしいのでしょうか。

それから、12ページ【視点3】学校における読書活動の推進の「2成果と課題」の(1)「読書活動の状況」【資料-5】は26ページではなく、25ページではないかと思ひますので、御確認ください。

○宍戸健悦教育長 はい、生涯学習課長。

○水澤秀晃生涯学習課長 はい。御指摘ありがとうございます。大変申し訳ございません。誤りでございます。6ページ【視点1】家庭における読書活動の推進の「2成果と課題」の(2)「保育所、幼稚園、認定こども園等」【資料-4】は24ページに、12ページ【視点3】学校における読書活動の推進の「2成果と課題」の(1)読書活動の状況【資料-5】は25ページに、それぞれと訂正させていただきます。

○宍戸健悦教育長 はい、訂正をお願ひいたします。
ございます。

○梶谷美智子委員 17ページ【視点4】図書館の機能強化と整備の推進の「2成果と課題」の(6)「図書館における子どもの利用状況の推移」について、利用率が平成18年度の55.1%に対し、令和4年度は66.1%と増加しているとの記述がありますが、どの年齢層の子どもたちの利用率が増加したのか、教えていただきたいと思ひます。

○宍戸健悦教育長 はい、図書館長。

○戸田ゆかり図書館長 はい、お答えします。図書館の統計上、子どもは、0歳から18歳までの括りで数値を取っておりまして、特に何歳児と統計は取っておりません。申し訳ありません。

○梶谷美智子委員 21ページ【資料-2】の「子どもの発達段階と発達的特徴、読書興味の発達段階」の表を見ると、おそらく市立図書館や分館などで、小中学校の児童生徒に加え、未就学の子どもたちや親子での利用が増えて全体の利用者数が増えているのではないかと考えました。

第2次石巻市子ども読書活動推進計画を読ませていただきまして、子どもたちの読書習慣の形成に向けて4つの視点を掲げ、様々な推進項目が掲げられているわけですが、1番最初の計画の目標について、私なりの考えをお話させていただきたいと思ひます。

計画の目標を読みますと、読書環境の整備を進め、不読率の改善を目指すと表現されています。

不読率は小学生で石巻市が15.9%と、全国、宮城県に比べるとかなり高く、課題である

ことから、不読率改善は、具体的な目標として必要だと思います。

しかしながら、読書活動推進計画は4年間にわたって取り組んでいくのですが、その計画の目標として、不読率の改善が出てくるのは、違和感を覚えます。推進計画に則って様々な取り組みをし、結果的に不読率が改善していく、読書の好きな子どもの数が増えていく、図書館の利用が増えていく、市立図書館と学校の連携が進み、学校図書館の機能や果たす役割が、充実していく、このような取り組みの成果として不読率の改善が図られると考えます。計画の目標は、読書好きな子どもたちを増やすなど、石巻市の目指す子どもの姿を表現していただきたいと感じました。

不読率の改善を目指すことがいけないことではないのですが、様々な取り組みをした結果として、不読率の改善が実現できるものであって、4年間の計画目標として不読率の改善が明記されることについては、私はいかかなものかと感じました。

○宍戸健悦教育長 では、今の件についてまず、生涯学習課長。

○水澤秀晃生涯学習課長 はい。御意見ありがとうございます。確かに数値目標は不読率でございますけれども、これを目標に掲げさせていただく狙いは、分かりやすい視点で確認できればという思いがありました。仰るとおり、子どもの読書計画においては、あまりにも機械的過ぎると思直すところもございます。もう少し、石巻市の目指す子どもの姿や感性的な表現が稚拙ではないかと思しますので、検証させていただければと思います。

○宍戸健悦教育長 ほかに意見ありませんか。

○鈴木憲事務局長 はい。

○宍戸健悦教育長 はい、事務局長。

○鈴木憲事務局長 はい。今、生涯学習課長がお答えしたとおりの部分もあるのですが、市が様々な計画を策定する際には、最終的な目指すゴールに向け進行管理していくため、数字で測る必要があります。今回は19ページにありますとおり、視点1から4に数値目標を設定しております。これらを達成することによって、最終的には計画の目標である不読率の改善に結びついていくという組み立てになっております。この数値目標はぜひ、設定させていただき、ほかに子どもたちの目指す将来像についての表現を追加するという形に改めさせていただきたいと思っております。以上です。

○宍戸健悦教育長 これは県の計画との整合はどうですか。

○水澤秀晃生涯学習課長 はい。

○宍戸健悦教育長 はい、生涯学習課長。

○水澤秀晃生涯学習課長 はい、県の計画につきましても、目標としてはまず不読率が出てまいります。不読率を、小学生7%、中学生16%とする数値目標につきましても、上位である県の同計画と合わせた提案となっております。以上です。

○宍戸健悦教育長 そうすると、数値的な目標として不読率の%を入れる、そして、目標の内容として、石巻市が目指す子どもが読書する姿を表現するというところでよろしいでしょうか。

○梶谷美智子委員 そうしていただけると良いと思います。はい。

○宍戸健悦教育長 この部分については、こちらでも議論したところでございましたので、私もお気持ちは良く分かっております。

○**梶谷美智子委員** おまかせいたします。

○**宍戸健悦教育長** 再度検討したいと思います。

では、そのほか、ございませんか。

○**大和千恵委員** はい。

○**宍戸健悦教育長** はい、大和委員。

○**大和千恵委員** はい、今の議論は私の共感する部分があります。第2次石巻市子ども読書活動推進計画は、公に出る資料なのでしょうか。

○**宍戸健悦教育長** はい、生涯学習課長。

○**水澤秀晃生涯学習課長** はい、公表いたしますので、御覧になる方は、たくさんいらっしゃると思います。

○**大和千恵委員** 数値目標の設定について、子どもたちや親が、読書が勉強と同じような感覚に受け取られてしまう、学力向上と同じようなイメージを受けてしまうのではないかと危惧しています。

私は、読書を生涯楽しんでもらう基礎ができることが一番良いのではないかと考えています。読書と聞くと活字を読まなければいけないというイメージが出てきますが、今は昔よりいろいろな種類の本が図書館に置いてあります。図鑑や大谷選手の本など、子どもたちが興味を持てるような本が数多くあるので、本に触れる、本に親しむ土台ができれば良いのではないかと考えています。結果として不読率が減っていくのではないかと思います。

1日1冊必ず読まなければならないとなると、読書が楽しいものではなくなくなってしまいますので、運動や体育もそうですが、強制されるというより子どもが自分から読みたい気持ちが起るような図書館作りや、先生方がこんな面白い本がありますよと紹介するなど、子どもたちが本に親しむ土台作りを手伝うことが学校や各家庭で、より一層できると良いのではないかと思います。

数字は結果を見るために指標として大事だが、前面に打ち出すのではなく、先ほど梶谷委員が仰ったように、本の好きな子どもをたくさん増やしましょうなどの切り口で打ち出した方が、子どもたちも親も楽しい気持ちで読書に取り組めるのではないかと感じました。

6ページの「ブックスタート事業」で新生児に石巻市から絵本をプレゼントしている事業があり、私も3人の子どもに絵本をいただいたのですが、それがきっかけで興味を持って同じシリーズの本買って読みました。凄く良い事業だと思っています。今後もぜひ続けていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

○**宍戸健悦委員長** はい。では、今2点についてお話がありましたが、それについて、生涯学習課長。

○**水澤秀晃生涯学習課長** はい。梶谷委員の御質問と同系列のお話と思いました。読書を推進する計画において、読書がノルマのようになってしまっただけでは良くないのではないかと御感想お持ちになったということでもございました。本当にそのとおりで思っております。目標に自主的に読書活動が行うことができるようにと掲げているところではございますが、ノルマのようになって自主的ではないと感じられる方もいらっしゃるかもしれません。

一方で、先ほど局長からもありましたが、計画を策定する場合は成果を数値で可視化する必

要がございます。梶谷委員、大和委員の御指摘のとおり、感性を大事にした表現、機械的にならない表現を追加させていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

また、「ブックスタート事業」をお褒めいただきまして大変ありがとうございます。お力強いお言葉をいただき感謝いたします。当該事業につきましては、続けていく考えでございます。以上です。

○宍戸健悦教育長 はい。では、計画の目標の表現、目指す子ども像をもう少し吟味し、今の意見を反映するというところで確認したいと思います。

なお、不読率は注釈にもありますが、不読は1ヶ月間に本を1冊も読まなかった状態を指し、石巻市の場合は3回調査を実施した平均との認識でよろしいでしょうか。

○水澤秀晃生涯学習課長 そのとおりです。

○宍戸健悦教育長 はい。そのような調査を実施しているということでもあります。これについても、良いですか。

○鈴木憲事務局長 はい。教育長。

○宍戸健悦教育長 はい。事務局長。

○鈴木憲事務局長 はい。来年度の取り組みですが、令和6年度の小学校が対象の施策ですが、電子図書の導入計画を進めております。紙の図書も大切ですが、電子図書によって触れ合う機会が増えるのではと考えており、教育委員会で財政当局と予算の獲得に向けて調整をさせていただいているところでございます。以上でございます。

○宍戸健悦教育長 はい。不読率解消のために1年を通じて本を楽しめる環境を作っていくということでございます。

目指す子ども像は非常に大事なことだと思いますので、しっかり議論し計画の中に埋め込んでいきたいと思ひます。

ほかに御質問ございませんか。

○依田晴美委員 はい。

○宍戸健悦教育長 はい。依田委員さん。

○依田晴美委員 はい。質問ではないのですが、私、絵本専門士の勉強をしまして、その際、自分の自治体の子ども読書活動推進計画をホームページで調べて下さいという課題が出ました。

この推進計画は、読書活動に関わる方に向けてのものと思うので、保護者もホームページで見られますが、どちらかというとボランティアに関わる方に向けてのものだと思ひています。

自治体によっては、計画が策定されていないところもあります。石巻市は読書活動推進計画に基づきブックスタート事業を行っていますが、自治体によっては、市が作成した小冊子を渡して終わりというケースもあるそうです。

そのため、石巻市は非常に良い、「ブックスタート」だと思います。読み聞かせをして、本当に良い本を子どもたちに渡して、読書のきっかけを作っている非常に良い事業です。

1度子ども新聞で中学生と取材に行ったことがあるのですが、中学生が「赤ちゃんって絵本見るんだ」と感心し、凄く驚いていました。ぜひ「ブックスタート」は続けていただきたいと思ひています。

しかし、なぜ不読率が高いのかという点ですが、ビブリオバトルというゲームがあります。子どもたちが本を紹介して、自分が紹介した本に得点が集まると勝ちというゲームです。そのゲームを展開する活動をしていた時に、小学校5年生の女の子に「何か紹介したい本だけ学校で用意しておいて下さい。」とお願いをして、後日、大学生と一緒にいったとき、絵本が用意してありました。しかし、その子は絵本を読んでいないし、読めていないのではないかと感じ、「ここ読んでみて」と声を掛けた時にひらがなが読めなかったのです。学習と読書はつながっていると、文字を読めなければ、読書はできないと感じています。

石巻市の学力の低さが不読率に関わってくるのではないかと考えています。小学校5年生で読めないひらがな文字があるのかと正直凄くショックでした。それがきっかけで今の塾を運営していますが、そこを改善しない限り読書活動は広がっていかないのではないかと凄く感じています。

でも、本を並べておけば子どもたちは手に取ります。面白いなと感じたことは、うちの塾生のケースですが、大人が読むようなニーチェの本を購入した中学生がいました。

子どもたちのすぐ手の届くところに本があるということは、大事なことだと感じました。また、読書ボランティアをやっていて、予算の消化の関係上4月ぐらいまでに購入する本を決める必要があり、その学年の子が入ってきた時に希望する本が購入できないというタイムラグがあつて困るということを学校司書の方からお聞きしました。予算の締め方を柔軟に考えていただけると良いと感じました。

子どもたちのそばにいろんな本を置けるような環境を作っていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○宍戸健悦教育長 はい、ありがとうございます。依田委員さんの今のお話に対してどなたか何かありませんか。

○鈴木憲事務局長 はい。

○宍戸健悦教育長 はい。局長

○鈴木憲事務局長 先ほどの話の続きになると思いますが、読書環境を充実させるためにも先ほど申しあげました電子図書について、小学校に限定されますが、整備していきたいということが1つのお答えになると思います。

またブックスタート事業について、先ほど大変評価をいただいたところですが、お渡しした際は保護者の方々に喜んでいただいたと自負しております。

満足度も100%に近い数字が出ていますが、ブックスタート事業が本当に効果を上げているのかという点について、今後は追跡調査をして、検証を進めていきたいと考えており、資料の19ページでございます【視点1】読み聞かせを実施していると答えた保護者の割合の目標について8割に設定しているところでございます。よろしくお願ひいたします。

○宍戸健悦教育長 学校の図書館の本についてはどうですか。学校管理課長

○土田順平学校管理課長 はい、先ほど依田委員からお話がありました、学校図書の司書さんの件ですが、新年度予算を組むためには前年度の予算要求から始まるので、ある程度予算的な縛りはあると思います。ただ購入は新年度に行いますので、予算の枠内でどの本を購入するのかという点については、柔軟に対応できるのではないかと考えております。以上です。

○**依田晴美委員** よろしくお願ひします。

○**宍戸健悦教育長** ほかによろしいですか。はい、生涯学習課長。

○**水澤秀晃生涯学習課長** はい、ブックスタート事業をお褒めいただきましたことで、より精力的に続けていきたいという自信につながりましたので、ありがとうございます。読み聞かせボランティアの研修につきましても依田委員に御協力いただいておりますことに感謝申し上げます。参考ですが、読書活動推進計画につきましても、子どもたちの読書活動の推進に関する法律において努力義務となっております。計画を策定していない自治体もあるということをお参考までにお伝えいたします。

○**宍戸健悦教育長** はい、依田委員さんよろしいですか。

○**依田晴美委員** はい。

○**宍戸健悦教育長** はい、では梶谷委員さんどうぞ。

○**梶谷美智子委員** はい、話が戻るようですが、依田委員さんが5年生になっても文字が読めない生徒がいてびっくりしたとお話されていましたが、まとまった文章を読む力が劣ってきているということは私も感じていました。教材文を最初から最後まで読む時間を、授業の中で取るということが難しくなっているのではないかと思います。

本が嫌いではないのだけれど、読む力、読み通す力が弱いと、選ぶ本も簡単に読めてしまうものになりがちではないかと思います。したがって子どもたちがどういう本を読んでいるのかということも調査する必要があるのではないのかと思うのです。

その調査をもとに子どもたちの、発達段階に応じた読書の質を高めていく読書指導が必要になってくると思います。今度使われる新しい国語の教科書を読ませていただきましたが、どの教科書にも学校図書館での本の探し方や、利用の仕方を国語の時間に学ぶ内容が入っていました。

国語の授業で司書さんと連携して図書館の利用の仕方、本の探し方も含めて学校で指導することが大事だと思います。

一時期、朝読書に取り組む時間が設定されていましたが、現場の方は分かりませんが、今は、様々やる事が多くなり朝読書の活動は、なくなっているのかもしれない。

今後、どうやって本を楽しく読んでいく子どもたちを育てていくかについては、難しさがあると思いますが、一冊の本との出会いが人生を変えることもありますし、豊かな人生を作っていくことにつながると思うので、ぜひ推進計画をより実効性のあるものにして、子どもたちの人生を豊かにしていけるようになれば良いと思います。

引き続きよろしいですか。

○**宍戸健悦教育長** はい。

○**梶谷美智子委員** はい。資料の6ページでございます【視点1】家庭における読書活動の推進についての「2成果と課題」の(2)保育所、幼稚園、認定こども園の取り組みの中に、パネルシアターやエプロンシアターが入っています。

幼稚園の現場で感じたことですが、公立の幼稚園や保育所の場合、貸し借りしながら使っていたと思いますが、民間の施設によっては活動をしたくても予算的な制約から、なかなか実施できない施設も多いと思います。

ですから、例えばセンターが所有し公立私立関わりなく貸し出し、子どもたちに触れさせる機会を作ることができたら良いと思います。

それから、大人の意識改革についてですが、私の考えですが、9ページにございます【視点1】家庭における読書活動の推進についての(5)公民館、図書館、児童館等における読書活動の推進の「行事の開催」の中に、「子ども読書の日」、「子ども読書週間」、「読書週間」における読み聞かせの推進に関する行事の開催に努めるということが書かれています。

石巻市では、この日は親子で本を読む日ですと定め、家庭や地域に啓発しながら読書活動を推進していく取り組みも良いのではないかと思います。

○**中央戸健悦教育長** ありがとうございます。

○**阿部邦英委員** 教育長。

○**中央戸健悦教育長** はい。阿部委員さん

○**阿部邦英委員**

学校図書館の図書等の整備状況について13ページに記載がありますが、数字的に理解できると思いました。平成10年度、合併前の旧市の時に保護者の方々に熱心な方々がおりまして、学校図書の冊数を何回も教育委員会に聞きに来られました。

このことで教育委員会において、学校図書館の増冊をしてきたという経緯がございます。

その後、整備状況が良くなり、他の合併前の6町も整備されていたので、石巻市全体の図書の整備状況が良くなったのではないかと感じています。

今後も引き続き整備していただければと思います。

また、先ほど梶谷先生からお話がありましたが、学校司書からの働きかけ、声掛けをいただければと思います。

司書は全校で配置されていますが、現在の司書の方々の勤務体系、勤務状況が学校図書館の充実に資するののかといった点を十分御検討いただいて、進めていただければと思います。

以上です。

○**中央戸健悦教育長** では学校における図書の活用、図書の推進ということについて、どうでしょうか。

○**福田光一学校教育課長** はい。

○**中央戸健悦教育長** はい。学校教育課長。

○**福田光一学校教育課長** はい。いろいろなお話をお聞きして、そのとおりで思っております。

まず、子どもたちが本を読めないということが、全国学力学習状況調査においても、顕著に表れています。

問題を読んで理解できない子どもが、ここ数年滞っていると思っています。

コロナの頃から小学校低学年のトラブルが多くなり、その理由は何かと考えていました。幼稚園の園長先生から、コミュニケーションが以前と比較して十分にできない子どもが入園してくるとも聞きました。ここ2、3年コロナで外出機会が減り、家庭内で親御さんと係る時間が多くなったことから、同年代の子どもたちと遊ぶ機会が少なくなったこと、お父さんお母さんも電子機器で過ごしている時間が多く、子どもたちとの会話が少なくなって幼稚園に入園して

くるので、なかなか話ができないのではないかと報告がありました。

自分の思いや感情を思うように表現できず、友達とトラブルを起こすのではないかと思います。

また、小学校入学後も、同じようなことを繰り返す状況が少し見られます。言葉を教えるところから授業を始める必要があり、本を読むレベルではないのではないかと考えています。

本は、自分で読んで、いろいろなことを考えていく想像力を養うことが狙いなので、動画を見る時間が多過ぎると、想像力が見につく機会は減少するのではないかと考えています。

絵本の読み聞かせについて、今はスマホでできます。以前は、お父さんお母さんが表情を加えながら読んでくれることで、子どもたちは、こういう時はこういう感じなんだということを体験することができましたが、これからは難しくなると考えていました。

今、学校では、マルチレベルアプローチという、写真の表情を見て、この人はどういう感情なんだろうというソーシャルスキルのトレーニングを実施しています。

それと併せて自分が本を読み、文章からいろいろなことを想像するという訓練も、学校の中で取り入れていく必要があるのではないかと考えています。

先ほど話が出た朝読書についても、不読率の高さが不思議なくらい朝読書を実施している学校があるにも関わらず、これだけの不読率であるということは、実施していない学校もあるのではないかと、教育委員会としてもおさえているところです。

学力に結び付ける読書と情操を養う読書は違うと思いますので、学力に結び付ける読書を味わいながら本が好きになっていき、自分の成長につながる本を探していってあげればと思います。先ほどの目標が不読率の改善でありましたが、目的や狙いは自分で考え、自分で判断し、主体性をもって生きる力を育てていきたいと思いますので、本に興味を持ってもらいたいと思いました。

司書さんの話については、学校では司書の方の働きが目覚ましく、図書館がどの学校に行っても非常にきれいに整備されており、子どもたちが昼休みや放課後に来て、本を読む姿も増えていますし、利用しやすくなったということが、一番大きな効果ではないかと考えています。

子どもたちが来ると、喜んで次のコーディネートに取り組む司書さんもたくさんいますので、学校としては司書さんの働きを非常にありがたく感じているところです。以上です。

○中央健悦教育長 はい。では委員の皆さん、ほかにありませんか。

○大和千恵委員 はい。

○中央健悦教育長 大和委員さん。

○大和千恵委員 はい。話が戻ってしまいますが、不読率が15.9%ですが、反対に読書率は84%ぐらいあると思います。不読率というマイナスなイメージの言葉を使用するより、読書率を90%以上にすると言い換えるほうが、印象が変わり前向きな気持ちになれるのではないかと感じていました。

また、依田委員が言われたビブリオバトルは、凄く面白い取り組みだと思います。以前ある学校に伺った際に、司書さんのお勧めだけでなく、先生方のお勧めの本を図書館の前に並べているのを見て、何々先生はこういう本が好きなんだとか、その人の一部が垣間見ることができる。自分が好きな本を勧めることで、ほかの人とも分かり合えるのではないかと感じました。

ビブリオバトルで子ども同士が自分の好きな本を紹介することで、心の交流も生まれるのではないかと思い、凄く良い取り組みだと思って聞いていました。以上です。

○**宍戸健悦教育長** ありがとうございます。

○**大和千恵委員** はい。

○**宍戸健悦教育長** 非常に前向きな御意見いただけたと思います。第41号議案第2次石巻市子ども読書活動推進計画(案)については、若干の修正を入れることとなります。事務局として、今後の日程はどうでしょうか。

○**鈴木憲事務局長** はい。教育長。

○**宍戸健悦教育長** はい。事務局長。

○**鈴木憲事務局長** 日程ですが、今日の審議で御了解をいただかなければ厳しい状況でございます。従いまして、今日いただいた御意見を確実に反映させていただくことを御約束させていただき、ぜひこの案の方向性で御了解いただければと考えているところでございます。よろしくお願いたします。

○**宍戸健悦教育長** 日程的には厳しいということですね。

○**鈴木憲事務局長** はい。

○**宍戸健悦教育長** 委員の皆さんにお諮りします。何ヶ所か修正部分がありましたが、それについては事務局で修正する。それから計画の目標については目指す子ども像や不読率の表現部分について、いただいた御意見を反映し修正を加え、全体としては留保できるかというところで決めてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**宍戸健悦教育長** では、いただいた御意見を反映し、事務局で修正し、委員の皆様へ報告を行い、次のステップに進んでいくということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**宍戸健悦教育長** それでは、第41号議案「第2次石巻市子ども読書活動推進計画(案)について」は、一部修正で原案のとおり決するというところによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**宍戸健悦教育長** ありがとうございます。

その他

○**宍戸健悦教育長** それでは審議事項を終了し、その他に入ります。初めに委員の皆さんから何かございませんか。

(「発言者なし」)

○**宍戸健悦教育長** よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○**宍戸健悦教育長** ありがとうございます。それでは各課長さん方から何かございませんか。

○**赤坂将人教育総務課長** はい、教育長。

○**宍戸健悦教育長** 教育総務課長。

○**赤坂将人教育総務課長** はい。教育総務課から御報告です。12月1日付で入学通知を発送しております。小学校1年生が840人、中学校1年生が1,012人です。地区別内訳は、

小学校1年生が、石巻地区が638人、河北地区で50人、雄勝地区で3人、河南地区で113人、桃生地区で26人、北上地区で8人、牡鹿地区で2人の、合計840人です。中学校1年生は石巻地区が702人、河北地区58人、雄勝地区3人、河南地区177人、桃生地区50人、北上地区18人、牡鹿地区4人の、合計1,012人です。

この入学通知数は、学区の生徒数から支援学校入学の方や、事前に把握している転校する方は除いておりますので、実際の人数と差がございます。この人数に入学通知をお送りしていただきましたので、お知らせいたします。以上です。

○宍戸健悦教育長 はい。それではそのほかございますか。

(発言者なし)

○宍戸健悦教育長 それではないようでしたら、次回の定例会の日程についてお願いします。

○成澤和彦教育総務課長補佐 はい。次回の定例会につきましては、1月24日水曜日午後2時30分から開催する予定です。場所につきましては、市役所5階502会議室になります。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○宍戸健悦教育長 はい。では不明な場合には4階の教育委員会に顔を出していただければ、声がけしていただければと思います。

以上を持ちまして、本日の定例会を終了いたします。ありがとうございました。

午後5時00分 閉会

教育長 宍戸健悦

署名委員 依田晴美